



○創立 50 周年プロジェクトメイン

- ・ 創立 50 周年記念事業に参画する準備をし、学校・P T A・しらさぎ会と協調する。
必要に応じて役員会と連携する。
- ・ 白鷗会発足 50 周年を記念する事業を立案し、その中心となる。
事業の実施に向けて役員会と協力し、プロジェクトチームを構成する。
- ・ 『創立 50 周年プロジェクトメイン』は、白鷗会発足 50 周年記念事業を終えるまでの間の任期とする。

○校歌祭委員会

- ・ 校歌祭に参加するということは、校歌祭実施に向けての運営にも関わり、参加校が分担してあたる。継続して校歌祭に参加していくと、運営するための幹事会に所属、実行委員長として全体運営の中心的役割を担うようになる。
並行して、白鷗会が披露するための準備が必要である。
- ・ 以上のことを見据えると、役員会だけが中心となっていくことは難しいので、役員会と連携して中心的役割を担う組織が必要である。

○連絡員幹事会

- ・ 原則、各期の連絡員の中から 2 名が、連絡員幹事会に入る。
令和 6 年 3 月卒業の 46 期生からは、卒業式前に顔合わせの時間をいただき、代表 2 名を選出していく。
- ・ それ以前の期に関しては、把握できている連絡員に依頼する。
- ・ 連絡員を決めていない時期や連絡員の把握ができない期に関しては、代表者を見つけていく。
- ・ 連絡員幹事は、各期の代表となり、年に 1 回役員会と連携し白鷗会活動を共有する。

○役員 OB『かもめ会』

- ・ 役員経験者で構成し、名称を『かもめ会』とする。
- ・ 白鷗会活動に協力依頼する。

○かもめサポーター

- ・ 同窓会活動全般に協力いただける方を登録する。